

ルクセンブルク経済・金融情勢（各種報道取りまとめ：2015年5月後半）

1. 経済

●環境負荷削減の取組みを実施する運輸・物流部門のルクセンブルク企業に与えられる「Lean and Green for Logistics」ラベルが、Arthur Welter 社、CFL multimodal 社、LuxairCARGO 社、POST Luxembourg 社に授与。「Lean and Green」ラベル制度は2007年に蘭で開始され、現在は伊、白、独及びルクセンブルクも参加。（18日付公共事業省コミュニケ）

●欧州議会のタックス・ルーリング等に関する特別委員会所属議員が、18日、ルクセンブルクを訪問。グラメーニャ財務相は「我々はEUと協力する意思があり、何も隠すことはない。既に改革に着手しており、ルクセンブルクはより透明性と税の公平性の方向に向かっている」旨発言。（19日付ヴォルト紙電子版）

●ICT関連イベントである「ICT SPRING EUROPE 2015」が19日及び20日に開催。今年は金融とテクノロジーの融合分野であるFintechがテーマ。（20日付ヴォルト紙）

●21日に発表されたOECDの報告書によると、OECD加盟国中、ルクセンブルクは16番目に所得格差が少ない国。所得格差を表す「ジニ係数」で見ると、ルクセンブルクは2007年に0.279であったのが2013年には0.302に増加（注：格差が拡大）。（22日付ヴォルト紙）

●Creditreform社によると、ルクセンブルクにおける2015年1月から5月中頃までの倒産社数は306社（前年同期は330社）で、減少傾向が2012年から継続。（22日付ル・コティディアン紙）

●2015年4月の失業率は6.9%（前月は6.9%、前年同月は7.2%）。（26日付統計局及び職業安定所プレスリリース）

●Amazon社、これまで欧州本社が所在するルクセンブルクにて一括して納税していたのを、5月1日より消費者の居住地に応じて、英、独、西、伊の各支社において納税の申告を開始する旨発表。仏にも支社設置の準備中。ルクセンブルクにとっては税収減が予想されるが、グラメーニャ財務相は、個別の納税者の状況についてはコメントできないとした。（26日付ヴォルト紙電子版及び27日付ジャーナル紙）

●スイスの国際経営開発研究所（IMD）が発行する世界競争力年鑑において、ルクセンブルクは61カ国中6位（去年は11位）で、欧州ではスイスに次ぐ2位。（28日付ヴォルト紙）

2. 金融

●欧州投資基金（E I F）及び ING Luxembourg、E Uの研究・イノベーションプログラムである Horizon 2020 の枠組の下、ルクセンブルクに所在する革新的な中小企業に対する融資として50百万ユーロを提供する協定に21日署名。

（22日付ル・コティディアン紙）

●グラメーニャ財務相、政府が保有するB I L株式の10%相当につき、条件が整い次第売却する意向を表明。国民議会における質問への答弁。（27日付ジャーナル紙）

3. 政府

●ベテル首相、21日及び22日にカザフスタンを訪問し、第8回アスタナ経済フォーラムに出席。ナザルバエフ大統領等と会談。バウシュ公共事業相が同行し、同国イセケシェフ投資開発相との間において航空協定に署名。（23日付政府公報）

●シュナイダー副首相兼経済相、27日にビエンコフスカ欧州委員（域内市場・産業・企業・中小企業担当）主催のグループ会合に出席。（28日付経済省コミュニケ）

●シュナイダー副首相兼経済相、28日にブリュッセルで開催のE U理事会（競争力担当相会合）に出席。（29日付経済省コミュニケ）

●グラメーニャ財務相、29日から31日かけてソフィア（ブルガリア）で開催のI M F・世銀会合に出席。（29日付財務省コミュニケ）

※当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。